



フォトコレ in ひろさき

花とメッセージポスターを贈呈



6月19日 弘前市役所（上白銀町）

花 の日の礼拝にちなみ、弘前学院聖愛中学・高校の生徒の代表が弘前市役所を訪れ、花束と「いつもありがとう」などのメッセージが書かれたポスターを贈りました。

角灯籠の書道メッセージ制作



弘 前ねぶたまつりの合同運行などが中止になる中、今夏は商店街などに角灯籠を飾って盛り上げようと、市内の高校生が灯籠に添える書道メッセージを制作しました。

工芸ワークショップ



7月10日 市立第四中学校（樹木5丁目）

伝 統工芸品を知る機会として、市立第四中学の生徒が津軽塗、ブナコ、津軽こぎん刺し、津軽焼の製作体験をしました。職人の指導を受けながら、生徒たちは自分だけの一品を作っていました。

各地で行われた
イベントやまちの話題を
お届けします★

ふるさとあおもり景観賞



6月23日 弘前市役所（上白銀町）

弘 前公園周辺の美化活動への取り組みが評価され、弘前工業高校の全校生徒と全職員からなる「弘前工業高校お城隊」が県の「第12回ふるさとあおもり景観賞最優秀賞」を受賞しました。

大森勝山遺跡ちびっこ縄文講座



7月7日 史跡・大森勝山遺跡（大森字勝山）

裾 野小・中学校の生徒が大森勝山遺跡を訪れ、環状列石の実物大表示として並べた自然石に自分の名前を記入しました。名前が残るということで、生徒たちは遺跡への愛着を一層深めていました。

清水森ナンバ鉢植え体験



7月10日 市立第二中学校（平岡町）

市 立第二中学校で、津軽地方の在来トウガラシ「清水森ナンバ」の鉢植え体験が行われ、生徒たちは手作りした木鉢に丁寧に苗を植えていました。ナンバは8月中旬から収穫できる予定です。



File.28

子ども食堂すこやかプロジェクト事務局長
さとう
佐藤 まさ さん

子ども食堂を「居場所」の1つに

「子ども食堂すこやか」では、無料で学習支援と食事提供をしています。ボランティアの元教師や大学生などが中心となって勉強を教えている間に、食事担当者が食事を作り、できあがったころに皆で一緒に食事をします。誰でも参加でき、今では毎回10組ほどの家族が来ています。

私はもともと看護師をしていて、退職してからボランティア活動をしたいと考えていたところ、ある記事を目にしました。小児科医の記事で、「病院に来るケースの背景に経済的な問題が潜んでいることも多く、弘前でも子ども食堂ができないか」というような内容でした。それを見て、「これをやらなくては！」と思いました。何もわか



らない状態からいろいろ調べたり勉強したりして、手探りで始めてから丸4年が経ちました。

子ども食堂は、経済的に困っていないなくても、忙しくて手作りの食事を十分に作ってあげられない保護者や、学校以外の居場所が必要な子どもなどにとって、ここに来ると安心するとか、楽しかったと思える「居場所」の1つであれば良いと思います。

私たちは子どもたちのおしゃべりや信頼関係を作る中で、家庭の背景を理解していきます。また、利用者から相談を受けることもあります。親や祖父母世代ではないボランティアの大学生は、子どもたちにとっては気軽に話せるお兄さんやお姉さんのような身近な存在です。中学生の時から来ている子どもが高校生になり、今ではボランティアの1人として参加し、小さい子の面倒を見てくれることもあります。

月に1度でも、季節の食材を使った食事を、いろいろな世代

ごみ減量速報

令和2年5月の
ごみ排出量
4,908t 425t 減!
(昨年同月比)

雑草・木の枝は乾かして軽くしよう!
草取りや庭木のせん定で出た草や葉は、
土に還すとごみゼロ! 数日乾かすと減量
できる上に、まとめやすくなるよ。

■問い合わせ先 環境課廃棄物政策係 (☎ 32-1969)

今月の
納税

国民健康保険料 第2期 介護保険料 第2期
後期高齢者医療保険料 第2期

納期限
8/31 (月)

納税には便利な口座振替を
ぜひご利用ください。



プロフィール

弘前市在住。弘前市社会福祉センターで月1回子ども食堂すこやかを開催。無料で食事の提供と学習支援をする。

の人たちと大人数で食べたり、おしゃべりしたりすることが、どこかで子どもたちの心に残るのではないかと思っています。

私1人では子ども食堂を続けてこられませんでした。多くの協力して下さる人がいて、ここまで続けてくることができました。今一番の課題は継承すること。私たちの世代も年を取りますし、次の世代に引き継いでいたらと思っています。

私は子ども食堂を通して、子どもたちの様子が少し見えるようになりました。皆さんも、良かったら地域の子どもたちに少し目を向けていただければと思います。大変なときには少し手助けしてもらうことや、余裕があるときに少し手を貸すことが、誰にとっても当たり前になる社会になることを願っています。

弘前れんが倉庫美術館



今号の表紙

表紙の作品「いのちへの手紙」は、弘前市民へのインタビューをもとに制作され、ねぶたをモチーフとした幅13mの大型絵画と映像などによる作品です。過去から現在に至るまでの弘前の人々の姿や風景が生き生きと描かれています。